

令和元年度 特別交付税 に関する要望

令和2年1月
いわき市

いわき市では、令和元年10月12日から13日にかけて台風第19号の直撃を受け、市内最大河川である夏井川の他、複数河川での決壊や越水による洪水により、8名の尊い命が失われると共に、広範囲にわたり浸水・土砂被害が発生しました。

また、最大浄水能力を有する平浄水場も被災し、市内の約1/3世帯(45,400戸)が断水するなど、多くの市民の皆様の日々の暮らしや企業活動等に支障を来したところです。

加えて、災害対応に当たっている中、間を置かず、10月25日の大雨により、市内各所で更なる被害が発生し、台風被害と併せ、甚大な被害が生じている状況にあります。

これら一連の災害により、河川、道路等をはじめ、農地、農業用施設、林道等の農林業関連施設、商業施設や事業所等が被災し、市民生活や地域経済が深刻な打撃を受け、被害の影響は極めて深刻なものとなっております。

政府におかれては、これらの災害を激甚災害に指定し、速やかな災害査定の実施など、迅速かつ柔軟な対応をいただいていることに深く感謝申し上げます。

現在、本市では、被災者の生活支援や各種インフラの復旧等に全力を挙げて取り組んでいるところでありますが、これら緊急かつ不可欠な事業実施に必要な財政需要が多額に上っております。

つきましては、被災地域の早期復旧・復興や被災者支援など、必要な財政需要に的確に対応できるよう、特別交付税の措置について、特段の御高配を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和2年1月28日
いわき市長 清水 敏男

■台風第19号等による災害対応分

要望額 1,383百万円(一般財源ベース※)

※ルール分対象経費及び起債の充当残を除く。

1 浸水対策

要望額(一般財源ベース):487百万円

本市においては、夏井川などの河川の決壊等により、広範囲にわたって床上浸水や土砂災害等に伴う住家被害が多数発生したことから、特に甚大な被害を受けた地区の被災者支援を目的として現地対策事務所を設置し、地域状況の把握、必要な情報や物資の提供、り災証明書等の受付のほか、被災者のニーズに応じた高圧洗浄機の貸し出し、買い物支援バスの運行や車両等の貸し出しも実施しているところであります。

また、基幹浄水場である平浄水場の被災に伴い、市北部地域が広域的に断水となり、多くの市民の皆様の日々の暮らしや企業活動等にも支障を来したことから、公共施設での入浴支援のほか、仮設トイレの設置等を行ったところであります。

〔主な経費〕

- 災害対策本部(地区本部)の設置・運営【47百万円】
- 現地対策事務所(平窪・赤井)の設置・運営【23百万円】
- 被災住家の調査、り災証明書の発行【62百万円】
- 住家の床下消毒【26百万円】
- 買い物支援バス・入浴支援バスの運行【18百万円】

○ 支援物資の集配業務【11百万円】

○ 仮設トイレの設置等【16百万円】



<浸水状況>



<現地対策事務所>



<り災証明受付窓口>



<買い物支援バス>



<支援物資の集配>



<仮設トイレの設置>

2 被災者支援

要望額(一般財源ベース):674百万円

本市における家屋等被害については、全壊121棟、大規模半壊841棟に対して、半壊3,170棟、一部損壊1,445棟となっており、半壊以下の被害が多いのが特徴であります。

このような状況を踏まえ、被災者生活再建支援法の対象外となる半壊以下の床上浸水と罹災認定された世帯に対する支援金の支給を行っております。

このほか、国の補助金を受けなければ事業再開が困難な、大きな被害を受けた事業者の事業継続に向け、被害の実情に応じたきめ細かな市独自の支援金の支給等を行っております。

〔主な経費〕

- 被災救助費【439百万円】
- 被災事業者への支援(事業継続支援奨励金)【15百万円】
- 一時仮入居のための市営住宅改修【187百万円】
- 災害ボランティアセンターの運営【19百万円】



<家屋浸水>



<災害ボランティア>

3 公共施設等の復旧

要望額(一般財源ベース):222百万円

〔主な経費〕

- 下水ポンプ場の応急復旧【84百万円】
- 農業用施設の補修【75百万円】
- 路面清掃【24百万円】
- 農業集落排水処理施設の応急的な設備修繕【15百万円】



<被災状況>



<路面散水(清掃)>



<下水ポンプ場>



<農業集落排水処理施設>

